

夏休み自由研究イベント「知ってビックリ! ミツバチの世界」

8月14日[金] 14:00 - 15:00 (受付開始 13:30)

「オール BEE 感謝祭」 by TBS 赤坂みつばちプロジェクト

TBS「オールスター感謝祭」がスタジオを飛びだして、当館に登場! ? ミツバチと地球環境について楽しく学んで、生物多様性のシンボル「ミツバチ」に関する早押しクイズにスマートフォンを使って挑戦しましょう! 今回だけのプレミアム賞品のプレゼントも!

講師
 **小林豊**
元 TBS アナウンサー
 **谷ちぐさ**
「TBS 赤坂みつばちプロジェクト」養蜂家

事前予約制 定員 100名 申し込みフォーム① 


小中学生と保護者向け

※スマートフォンをご持参ください。通信料はご自身の負担となります。
 ※通信環境など諸事情によりクイズにご参加いただけない場合があります。
 ※企画内容は変更になる場合があります。

8月15日[土] 10:30 - 11:30 (受付開始 10:00)

講演会 「ミツバチ Q&A」

「働きバチはオス? メス?」「寿命はどれくらい?」「何を食べているの?」など、子どもたちからのミツバチに関する疑問にお答えします。ご予約の際に質問事項を募集いたします。

講師  **高橋進**
生物多様性 コミュニケーター

事前予約制 定員 150名 小中学生と保護者向け

8月14日[金] / 15日[土] / 16日[日]

「ミツバチ広場」

当館 2 階のイベント会場にてミツバチに関する研究資料や書籍を自由に閲覧いただけるスペース「ミツバチ広場」を開設いたします。ミツバチが子育てをし、ハチミツや花粉を貯める巣や巣箱、ハチミツを採る際に着用する養蜂着、書籍「ミツバチはこんなに楽しい!」で紹介された世田谷区立世田谷小学校の養蜂記録、昨年のミツバチサミット 2025 で発表された小中高校生のポスターなども併せて展示いたします。


予約不要 どなたでも

8月15日[土] 13:30 - 15:45 (受付開始 13:00)

講演会① 「花とハチの世界」 講演会② 「ミツバチの体のしくみ」

講演会①ミツバチは四季折々の花を回り、植物の受粉を媒介するなどして花とともに生きています。花の中の蜜や花粉はどのようにしているのかなど、ミツバチの驚きの世界をご案内します。

(休けい)
 講演会②体長わずか1センチ、体重0.1gの働きバチ。小さな体には女王バチや幼虫の世話をし、外部の環境を捉えて蜜を集めるための機能が詰まっています。そのしくみを解説します。


講師 佐々木正己 玉川大学名誉教授 申し込みフォーム③ 

事前予約制 定員 150名 大人向け

8月16日[日] 14:30 - 16:00 (受付開始 14:00)

「新体験! 顕微鏡で見るミツバチ」 昆虫好きあつまれ!

ミツバチの体の内外の構造や花のしくみを、デジタル顕微鏡を用いて大型スクリーンにクローズアップし映しだしながら解説いたします。

講師 佐々木正己 玉川大学名誉教授 申し込みフォーム④ 

事前予約制 定員 150名 ミツバチマニア向け

8月15日[土] / 16日[日] 各日 17:00 - 17:30

「東京ミッドタウン(六本木) ミツバチが好むお花探しウォーキング」

TBS で飼われているミツバチは、赤坂周辺の花にもやってきて蜜集めをします。自然豊かな東京ミッドタウン(六本木)の庭にはどんな蜜源植物があるか、探しに出かけてみましょう!

講師 佐々木正己 玉川大学名誉教授
 予約不要 定員 20名 どなたでも ※雨天時は中止となり、ギャラリートークに変更します。

申込方法 各申し込みフォーム(二次元コード)またはお電話・会場にて受付。
 ※詳細はウェブサイトをご覧ください。

申込期間 7月2日[木] - 8月12日[水]

ミツバチは こんなに 楽しい!

小さな生き物の
大きなチカラ

The Joy of Honeybees:
The Great Power of a Small Creature



2026年 8月14日[金]
 - 9月10日[木] 会期中無休 入館無料

10:00-19:00
 (最終日は 16:00 まで、入館は終了 10 分前まで)
 富士フィルムフォトサロン 東京 スペース3
 写真: 佐々木正己 (玉川大学名誉教授)

同時開催 夏休み自由研究イベント
 「知ってビックリ! ミツバチの世界」

主催: 富士フィルム株式会社
 企画協力: 株式会社 TBS ホールディングス、株式会社日経サイエンス
 後援: 一般社団法人養蜂産業振興会、東京都養蜂協会、
 赤坂まちづくり代表会議、六本木商店街振興組合、
 港区教育委員会、世田谷区教育委員会
 監修: 高橋進 (生物多様性コミュニケーター)

13 SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年に国連総会で採択された、2030年までに国際社会が社会課題として取り組むべき「持続可能な開発目標」です。貧困、不平等・不正義の是正、健康、教育、働きがい、気候・環境など17の目標と169のターゲットが定められています。目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に掲げられた取り組みは、本展に通じるものです。

富士フィルムフォトサロンは、2026年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2026」の認定を受けております。

THIS IS MECENAT 2026

ミックス FSC® C022028

富士フィルムフォトサロン 東京 (フジフィルム スクエア内)
 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
 TEL:03-6271-3350 (受付時間: 10:00-18:00)
 ウェブサイト <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
 東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩 4分
 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩 5分

※祝花は固くお断り申し上げます。
 ※写真展・イベントはやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。
 ※イベントや展示会場での様子は、記録撮影させていただくとともに、当館の活動報告や広報目的で公開させていただく場合がございます。予めご了承ください。

FUJIFILM SQUARE

写真展概要

ミツバチはハチミツを生産するだけでなく、多くの果物や野菜、ナッツ類の受粉にかかわり、私たちの暮らしを支えています。本展ではそんなミツバチ研究の第一人者である佐々木正己氏（玉川大学名誉教授）が長年撮影してきた普段見ることのできない貴重なミツバチの姿と花の写真や解説パネルを展示いたします。

また、都市養蜂の先駆けとして赤坂にある株式会社TBSホールディングスが2011年に開始した「TBS赤坂みつばちプロジェクト」の軌跡を記した『ミツバチはこんなに楽しい！人と街を育てる都市養蜂プロジェクト』（日経サイエンス社刊）

の編著者である高橋進氏が本展を監修いたします。赤坂をめぐる生物多様性とミツバチの活動を紹介しますとともに、都市養蜂の現状についてもわかりやすく解説いたします。

「小さな生き物の大きなチカラ」をご体感いただけるよう、写真展開催期間中に親子で楽しめるミツバチ教室や講演会などのイベントも多数開催いたします。



ミツバチはこんなに楽しい！
人と街を育てる都市養蜂プロジェクト
日経サイエンス社刊

Photo Exhibition Outline

FUJIFILM SQUARE is pleased to present The Joy of Honeybees: The Great Power of a Small Creature, a photo exhibition that offers a fun-filled way to learn about the lives of honeybees and the environment that surrounds them through photographs and panels.

Honeybees do more than produce honey. They also pollinate many fruits, vegetables, and nuts, playing a crucial role in our daily lives. This exhibition features photographs of honeybees and flowers, accompanied by panels with commentary, taken over many years by Masami Sasaki, Professor Emeritus at Tamagawa University and a leading figure in honeybee research, offering views of bees that are seldom seen.

The exhibition is supervised by Susumu Takahashi, editor of The Joy of Honeybees: An Urban Beekeeping Project Cultivating People and the City (published by Nikkei Science Inc.), which traces the history of the TBS Akasaka Honeybee Project launched in 2011 by TBS Holdings, Inc. (hereafter "TBS"), based in Akasaka and a pioneer of urban beekeeping in Japan. The exhibition presents the biodiversity of the Akasaka area and the activities of honeybees there, along with an accessible account of urban beekeeping today.

To enable visitors to experience the great power of these small creatures firsthand, a wide range of events will be held during the exhibition period, including honeybee classes and lectures that parents and children can enjoy together. Please join us.



ヒナゲシでの花粉集め。まず花粉がついている雄しべに体全体で触れ、体の毛についた花粉をホバリング（静止飛行）しながら花粉ダンゴにまとめていく。



後ろ脚の花粉ポケットに花粉ダンゴが成形されるまで。

ミツバチの技はこんなにすごい！



ポリジの花で蜜を集めるセイヨウミツバチ。花粉は一度腹部に落としてから、脚を使って器用にダンゴにする。

花もミツバチもこんなに賢い！



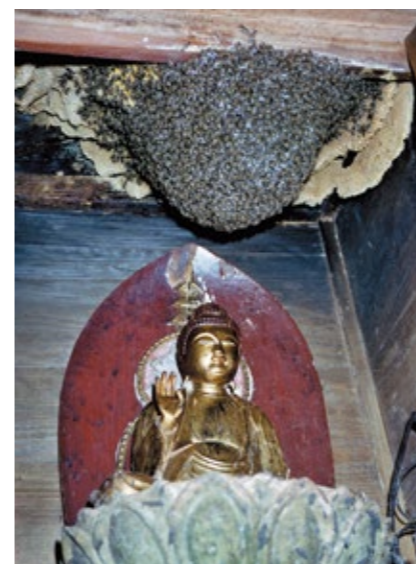
ラン科のキンリョウヘンの花は、ニホンミツバチの集合フェロモン成分を出し、擬態で蜂を誘引する。この花は蜜も花粉も用意せずに受粉をしてもらう。



ヤブガラシの花の色は白ごとにへんか変化する。1日目は橙色で蜜を出し、2日目はピンク色で蜜はほとんど出なくなる。ミツバチは色の違いを学習して、橙色の花を訪れる。

山里のお堂の中に作られたニホンミツバチの自然巣。人工物をうまく利用して、何年も営巣を続けている。

番外編



巣房に貯蔵された蜜と花粉。熟成したハチミツには右上のようにワックス（蜜ろう）で蓋がけされる。中央付近の黄色や橙色は貯蔵花粉で蜂パンと呼ばれ、育児担当の蜂がこれを食べてミルクの形に変え、幼虫に与える。

撮影者のプロフィール

佐々木正己

ささき まさみ



玉川大学名誉教授。玉川大学農学部でミツバチの女王分化を卒論テーマとしたのがミツバチとの出会い。東京農工大学と東京大学の大学院で、それぞれ寄生植物特異性と体内時計について研究の後、母校に戻り、ミツバチの社会性機構を中心に研究。農学部長、農学研究科長、学術研究所長などを経て退職。現在は 同大名誉教授、一般社団法人養蜂産業振興会代表理事。著書に『養蜂の科学』『ニホンミツバチ』『蜂からみた花の世界』などがある。

ギャラリートーク

ミツバチの生態を養蜂家で東京都養蜂協会理事の高橋和子氏が「観察箱で見るミツバチ教室」と「なぞとき！8の字ダンス」で、農研機構の前田太郎氏と岸茂樹氏が「虫がよるこぶ花」から解き明かします。

予約不要 定員なし

どなたでも

会場：写真展会場内（座席なし）

8月19日[水]/26日[水]

各日 13:00 - 13:30

講師 養蜂家
東京都養蜂協会理事
高橋和子

8月23日[日]/30日[日]

各日 13:00 - 13:30

講師 農研機構
前田太郎

農研機構
岸茂樹